

【一般会計予算案に賛成】

2番 高橋 耕也

今、新しく町が変わるところです。町長も新しくなり、前に進みながらしっかりと小鹿野町の未来を立て直していくのだという内容をこの予算案には見られました。予算案に対しての質問にも丁寧に答えていただき、現状の小鹿野町は町民目線に立とうというのが見えしたので賛成します。

【一般会計予算案に賛成】

4番 齋藤 維

この予算案には新規事業がたくさん含まれており、人口減少問題にもしっかりと対応していく姿勢が見られます。出資債と庁舎整備については、町民に真摯に説明していく責任が町長にはありますし、きちんと説明すると言っていたいただきましたので、それを信じて賛成します。

【一般会計予算案に賛成】

12番 強矢 好光

出資債については、私は義務的経費だと思っております。出資債を出さなければ工事もできませんので、出資債は出すべきだと思います。

ます。有利な出資債ですので、議員の皆様はもう少し理解をしていただき、秩父郡市が一体となって運営できますようお願い申し上げます。

賛成します。

【修正案に賛成】

4番 猪野 武雄

町民に説明もしないで出資債を出してしまう、その後に町民の理解を求めるといふ順序が逆だと思いますので、出資債の支出については反対です。庁舎整備事業費についても、設計費を先に予算付けし、4月以降の町政懇談会で町民の意見を聞く、これも順序が違います。当初予算ではなく、6月、9月の補正予算に向けて対応することが町民の理解を得るのには近道だと思いますので、修正案に賛成します。

【修正案に賛成】

9番 岩田 和幸

出資債についても、庁舎整備事業費についても、補正予算でいいと思います。なぜ当初予算でなければいけないのか。きちんと町民に説明し納得していただいているから予算組みをすればいいと思います。

物事の順序が逆だと思いますので、修正案に賛成します。

【修正案に賛成】

4番 山中 豊彦

人口減少が進む中で、この町は支出を減らして小さくやっていく以外にないと思っています。小鹿野町にはきれいな水があるにも関わらず、遠くから水を持つてくるなどと、私に言わせれば地方自治ではありません。こんなことをしていたら町はもたないだろうと思いますので、修正案に賛成します。

起立採決の結果、起立多数で、平成30年度一般会計予算案を原案のとおり可決しました。

・小鹿野町国民健康保険特別会計予算

起立採決の結果、起立多数で、平成30年度一般会計予算案を原案のとおり可決しました。

【討論】(要約)

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

県単位化により、一般会計からの繰り入れをするという方向ですけれども、小鹿野町のように安保険税で済んだものが1・5倍、

2倍になる可能性があります。被保険者にとつて大変な金額になると思いますので反対します。

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

一般会計からの繰り入れを4500万円引き下げ、6年間かけてゼロにする方向が示されました。その結果、相対として平均7500円の引き上げをせざるを得ないということですが、国保の被保険者にとつて大幅な負担増になることが懸念されますので反対します。

【原案に賛成】

10番 加藤 喜一

県単位化において、6年後には繰り入れをゼロにするとの国の指導のもと、それに近づける方法でやっていくことが健全財政を守ることだと考えますので、苦渋の決断ですけれども賛成します。

起立採決の結果、起立多数で、原案のとおり可決しました。

その他の特別会計予算及び事業会計予算は、それぞれ全会一致で原案のとおり可決しました。

条例の改正

・小鹿野町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料を改正したいので、この案を提出するものです。

●主な質疑

Q 保険料が高くなっていく要因は。

A 施設入所の方が多いということがひとつの要因として考えられます。

【討論】(要約)

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

小鹿野町の現在の介護の水準を維持するためには、これだけの値上げが必要だということはよくわかりますが、町の中の声を聞くとやはり値上げには無理がありますので反対します。

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

国は消費税を導入するときに社会保障に回すと言いましたが、実

際はそうではないわけです。消費

税がまた上がります。社会保障に回すと言っていますが非常に不透明です。基本的な制度設計が違っているので、反対せざるを得ません。

起立採決の結果、起立多数で、原案のとおり可決しました。

議員発議

・小鹿野町手話言語条例

提出者 高橋耕也

賛成者 齋藤 維 高橋謙治

笠原義行

12月定例会で文化厚生常任委員会に付託され継続審査となった本条例案は、本委員会において審査した結果「修正議決すべきもの」と決定し、3月定例会（16日）において委員長が審査結果を報告しました。

本会議では、委員会審査結果のとおり、原案の前文を削除し、それ以外は原案のとおり全会一致で可決しました。

・小鹿野浄水場の存続を求める決議案

提出者 山中豊彦

賛成者 猪野武雄 出浦正夫

岩田和幸 高橋謙治

齋藤 維

《提出者による趣旨説明》(要約)

10年後、確実に秩父からの水道が整備される保障も見えず、また、自然災害時のことも考えると、小鹿野浄水場をすぐにでも使える体制をとっておくことが必要です。

地元の水を使って生活したいという小鹿野町民の強い願いを将来にわたって保障するために提出するものです。

【討論】(要約)

【原案に反対】

10番 加藤 喜一

水道事業の広域化に賛成の立場であり、現在、広域の議員として1市4町で肅々と進めていくことが将来の町のためになるという考えのもとから反対します。

【原案に反対】

2番 高橋 耕也

このまま広域水道事業が続く中で、いつ使うかわからない、また、見直しの際、その案に小鹿野浄水場が盛り込まれるかわからない状況で、この施設を維持するには非常に大きな財源が必要になります。広域の水道事業を進めていくという意味で一人の政治家として苦しい判断ですが反対します。

【原案に反対】

8番 眞下 登

災害時の対応として、飲料水用のタンク等つくことは町として必要だと思いますが、小鹿野浄水場を残すとなるとかなりの費用が必要になると思います。私は広域水道化に賛成してきましたのでこの決議案には反対します。

【原案に賛成】

6番 猪野 武雄

出資債の含まれていた一般会計予算が可決されました。小鹿野の水を残す大事なカードを失ったという気がしてなりません。多くの
(6頁上段へ続く)